

平成16年度各会計決算を認定

歳出総額776億9,827万8千円

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会の委員は次のとおりです。

委員長	秋田 仁
副委員長	岡田 文雄
委員	
内田 陽一	藤田 進
木村 定示	竹内 美穂
中井 洋子	小倉 良夫
植竹 健夫	小池 文宣
若林 丈人	池田 秋司
藤井 正	染谷 司
大橋 広志	

平成16年度各会計決算については、15人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置。9月20日から3日間にわたり慎重な審査が行われ、本会議最終日の審議の結果、各会計決算とも認定されました。

反対討論

■一般会計

歳入では、三位一体における野田市の影響は約四億五〇〇〇万円、税源移譲分を差し引いても国・県をあわせて二億円の削減となっている。三位一体改革は自主性向上につながる補助金のカットや交付金支給による公共事業は政府の意図に沿っていなければ税源移譲が受けられないという制度になっており、税源移譲などは批判しているものの、小泉改革に賛成して行政改革を進めていることから反対である。

歳出の総務費では、地区別懇談会、自治会長会議、医

師会や歯科医師会への多額な補助金など、特定の市民とのつながりしなく幅広い市民の意見を反映させようとする姿勢がない。また、市民からのメールや市長への手紙、さらに、市長交際費はホームページで公表すべきである。

民生費では、福祉タクシー

券の改善をかたくなに拒否している。今後の介護保険見直しが必要となる高齢者

サービス調整委員会の組織

見直しや独居老人、認知症

の実態把握などへの取り組みの方向性が見られず、安

心して暮らせる福祉レベル

ではない。また、児童虐待

にかかわるケースワーカー

の受け持つ件数が多く、体

制強化が必要である。日本

脳炎も廃止や個別接種とな

ったことから、他の予防接

種も子供の様子が把握でき

るホームドクターによる個

別接種にすべきである。

衛生費では、三ツ堀自治会

との裁判に市税を投入し続

けた。清掃工場の修繕費や

定期点検費が毎年二億円も

かかり、耐用年数を超えて

いることを認めない姿勢に

平成16年度各会計決算の状況

区 分	歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計	48,331,560千円	46,865,629千円
特 別 会 計	国民健康保険	12,861,046千円
	下水道事業	3,526,384千円
	老人保健	9,506,350千円
	用地取得	204,991千円
	介護保険	4,724,157千円
	次木親野井特定土地 区画整理事業	521,471千円
	小 計	79,675,959千円
		77,698,278千円

反対である。また、指定ごみ袋への氏名記入を押し通し続けることは問題である。

土木費では、清水公園駅前線は生活用道路の改修がおくれている中で、費用対効果から見ても必要がない。川重住宅の市営住宅は築四十年でバリアフリーなどを

図るには無理がある。消防費では、市民の安全・安心の立場からも、消火栓の整備を急ぐべきである。

教育費では、副教本を現場で使いこなすことができるのか疑問である。国の補助金がついている間に、学校の耐震工事もっと積極的

に取り組んでいくべきであった。また、公民館の開館

時間延長が利用者に周知されていない実態があり大きな問題である。

■国民健康保険特別会計では、資格証明書や短期保険証の発行がふえており、減免制度を確立すべきということで反対である。

■下水道事業特別会計では、一般会計からの繰り入れがふえ続けており、計画区域を見直すべきである。

■老人保健特別会計では、制度そのものに問題があるので反対である。

■介護保険特別会計では、介護保険の見直しに向けての実態把握が全くなく、積極的な姿勢が見られないので反対である。

賛成討論

■一般会計

歳入では、自主財源の根幹である市税が法人市民税や固定資産税の増により対前年度比で三・九％増、地方交付税が平成十五年度の野田・関宿の合算値と比較すると〇・三％減となっている。市債は減税補てん債の借りかえ等の発行で大幅な増となっているが、今後の財政運営に当たってはプライマリーバランスを考慮し、財政規律を維持しながら、合併したことにより活用できる財源を最大限に活用していただきたい。

また、自主財源の確保及び税負担の公平性を期すために、臨戸徴収、休日・夜間窓口の延長、郵便局での直接納付ができるようになるなど、徴収対策を強化したことを評価する。

歳出の総務費では、まめバスのルート増設により運行が拡充されるとともに、コミュニティ会館の無休化等により、市民の利便性の向上が図られた。

民生費では、出産祝品交付事業としてのブックスタート事業の開始。新エンゼルプラン策定費、ひとり親家庭支援対策としての母子自立支援員の派遣及び母子自立支援教育訓練費の給付、私立保育所への運営管理委託料及び運営費の補助などが計上されており、市民のニーズにこたえた施策実施がうかがえる。合併関連事業により保育所二カ所へ空調機を設置したほか洋式トイレ二カ所が改修された。衛生費では、関宿支所への空き缶回収機設置及びごみの不法投棄監視カメラ設置により、不法投棄処理量が

減少した実績を評価する。労働費では、無料職業紹介所を開設し、職を求めている市民のニーズに対応された。

土木費では、江戸川左岸連絡道路のほか、日光街道の舗装補修事業が着実に実施された。また、鉄道高架事業、清水公園駅前線、梅郷東駅前線事業が実施されているとともに、合併特例債事業では七光台駅東西連絡自由通路整備事業、梅郷駅東口開設事業、梅郷東駅前線道路改良工事が着実に実施されている。さらに、関宿総合公園体育館、三ツ堀里山自然園が完成し、都市整備が着実に進められているとともに、市営住宅の新設事業においても、少ない費用で早く供用できる方策がとられたことを評価する。消防費では、関宿北出張所の開設で、市内全域が五分以内で到着が可能となり、関宿地区の方々に安心感を与えたことを評価する。教育費では、福田第一小学校の耐震補強工事が行われ、安全な教育環境の確保が図られた。また、校内LAN

の整備が進められ、IT社会へ対応できる教育環境が整えられていると評価する。

■国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計では、不納欠損金や収入未済額が多いものの、収納率の向上を要望し賛成する。

議長不信任決議案を可決
九月十二日の一般質問の途中で、野口義雄議員ほか二十名より「議長 飯塚 武議員に対する議長不信任決議案」が提出され、賛成多数で可決されました。

懲罰特別委員会を設置

染谷 司議員ほか六名より「橋繁雄議員に対する懲罰動議」が提出されたことにより、本会議の最終日に懲罰特別委員会が設置され、委員が選任されました。委員会においては、正副委員長の互選及び事件の審査が行われました。

なお、本会議における審議の結果、陳謝の懲罰を科すことが賛成多数をもって可決されました。懲罰特別委員会の委員は次のとおりです。

委員長	石山 昇
副委員長	江村 祐三
委員	古橋喜久男 添田ひろ子
	堀井 孝悦 鈴木 有
	松本 睦男 知久 孝
	野口 義雄 長南 博邦



決算審査特別委員会審査風景